

令和6年度(2024年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	武雄市立御船が丘小学校	児童数609人
-----	-------------	---------

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	学校や家庭での読書活動を通して、自主的に図書室へ足を運び、多様な本に触れる児童の育成
	取組期間	令和6年(2024年)4月15日～令和6年(2024年)11月29日

※令和6年(2024年)4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和6年(2024年)11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

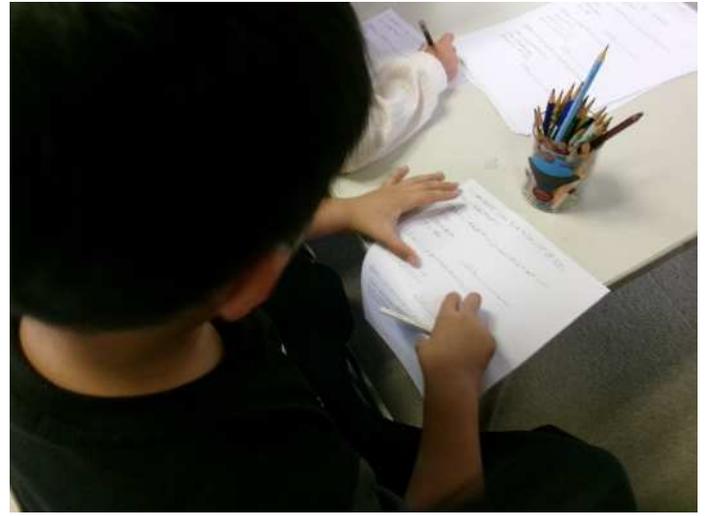
評価	取組人数	609人	実施日数	229	読書冊数	一人平均 106冊	連携した団体数	1団体
	取組内容(概要)	<p>① 図書館まつり(読み聞かせ、クイズ、しおり作り)</p> <p>② 表紙パズル</p> <p>③ リレーうち読(家庭で本を読み、次の人に回していく)</p> <p>④ 育友会および育友会OBによる読み聞かせ(月1回)</p> <p>⑤ その他の取り組み(呼びかけ・2冊カード・おすすめの本紹介・読書ノート)</p>						
工夫したこと	<p>① 図書館まつり</p> <p>学校や家庭での読書活動を通していろいろな本に親しめるように、図書館まつりを2回(6月と11月)行った。一週間前に図書館まつりのチラシをクラスに配布し、イベントを予告した。一週間さまざまなイベントを行うことで図書室に足を運びきっかけを作った。また、イベントに参加した児童には、ラミネートしたしおりやプラス1冊券をプレゼントするなどさまざまな工夫をした。</p> <p>② 表紙パズル</p> <p>図書館まつりのある月に低学年10冊、中学年8冊、高学年5冊を借りたら出席番号に応じたパズルのピースがもらえる。20冊、16冊、10冊借りた人は2枚目のピースがもらえる。学年の実態に応じた絵本や物語などの本の表紙を選び、学級のみんなで協力して完成させられるようにした。</p> <p>③ リレーうち読</p> <p>学年の実態に応じた本を用意し、一人ひとり家で読んで感想を書く。家庭に持ち帰ることで保護者と一緒に本を読むだけでなく、家族の時間を楽しめるようにした。</p> <p>④ 読み聞かせ</p> <p>月に1度、読み聞かせボランティアグループに来ていただき、朝の時間(15分)に読み聞かせをしてもらった。児童の興味を引くような、多様な本を持ってきていただいた。</p> <p>⑤ その他(呼びかけ・2冊カード・おすすめの本紹介・読書ノート)</p> <p>・毎日給食時間に、図書室に来てくれるように呼び掛けた。毎月1日、15日と毎週</p>							

	<p>金曜日は誰でも2冊借りられる日とし、少しでも図書室に足が向くように工夫した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50冊借りたらいつでも2冊借りられるカードを発行し、多様な本に触れる機会を増やせるようにした。 ・図書委員が選ぶ「おすすめの本紹介カード」を canva で作成し、図書室前に掲示し、いろいろな本があることを知らせるきっかけを作った。 ・県からの読書ノートを配布し、しっかり読んで感想を書いている児童には、プラス1冊券を一人最大5枚プレゼントした。
<p>取り組んだ感想</p>	<p>本校の児童は活発で、毎日外に出て遊ぶ児童が多い。そのため現状として図書室に足を運ぶ児童は多いとは言えなかった。しかし、さまざまな取り組みを行ったことで変容が見られた。</p> <p>「図書館まつり」は毎年行っているが、児童の興味のあるイベントを取り入れたことで、昼休みになると進んで図書室に足を運ぶ児童が増えた。特に、図書館まつり開催の月に行った「表紙パズル」は、どの学年の児童も生き生きと取り組み、「あと何冊でもらえるかな。」「これ何の表紙かな?」と表紙パズルの完成を楽しみながら、図書室に足を運んでいた。表紙が完成すると、「表紙と同じ本借りたよ!」と嬉しそうに教えてくれる児童もいた。なかなか本を読まない児童も学級全体で取り組むイベントを仕組んだことで、自然と本を借りに来ることが増えた。</p> <p>「リレーうち読」は、家庭に本を持ち帰ったり、担任がチェックをしたりなど大変な面がありはしたが、普段読まないような本を読む機会となった。また、家庭で読む取り組みなので、自分で読んでも、保護者に読み聞かせしてもらってもいいことにしている。家庭に合った方法で取り組むことができた。</p> <p>読み聞かせでは、月に1度、朝の時間(15分)を活用して2冊程度読んでいただいた。児童は読み聞かせが好きで、読んでもらった後に図書室へ行き、「あの本あるかな?」と探し、友達と集まって楽しく読んでいる姿が見られた。短い時間でも読んでもらうという時間があることで、児童が本に興味をもつきっかけになった。また、なかなか読まないジャンルの本を読み聞かせしてもらうことで、「読んでみようかな。」と多様な本に触れる機会になり、児童にとってよい影響を与えた。</p> <p>図書館まつりなどのイベントのほかに、普段から図書室へ行って、本を読みたいと思える取り組みを行ったが、少しずつ図書室へ足を運ぶ児童が増えてきている。また、掲示物を豊かにすることで図書室前で足を止める児童も増え、様々な本に興味をもってあげることが分かった。まだまだ、人によって貸出冊数に差はあるが、さまざまな取り組みにより、多様な本に触れる機会は増えてきている。</p>
<p>今後の取組予定 (令和6年(2024年)12月 ～令和7年(2025年)3月)</p>	<p>表紙パズルが好評であったため、2月に第3回表紙パズルを計画している。そして、今後も読書奨励の継続を行っていく。</p>

①図書館まつり



しおりづくり



クイズ

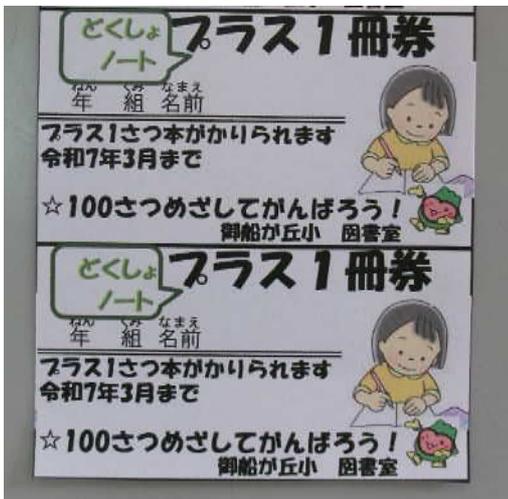


図書委員による読み聞かせ

⑤ その他の取り組み



おすすめの本紹介



プラス1冊券



いつでも2冊カード

⑥ 貸出数の変化

